

授業科目	子どもの保健	2単位	選択	講義	1学年前期	担当教員	教授 桜井ますみ			
授業の概要	1. 子どもの心身の健康増進を図る保健活動の意義を理解する。 2. 子どもの身体発育や生理機能及び運動機能並びに精神機能の発達と保健について理解する。 3. 子どもの疾病とその予防法及び適切な対応について理解する。 4. 子どもの精神保健とその課題等について理解する。 5. 保育における環境及び衛生管理並びに安全管理について理解する。 6. 施設等における子どもの心身の健康及び安全の実施体制について理解する。									
到達目標		学習成果Ⅰ			学習成果Ⅱ			学習成果Ⅲ		
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
子どもの保健と母子保健、子どもの保健の諸統計について理解する。					○	○				
子どもの身体発育とその評価、子どもの生理機能の発達について理解する。					○	◎				
子どもの脳神経系の発達、運動機能について理解する。					○	○				
子どもの感覚の発達と評価、精神発達と評価について理解する。					○	◎				
凡例 ◎：学習成果Ⅰ～Ⅲを獲得するために特に重要な目標、○：学習成果Ⅰ～Ⅲを獲得するために重要な目標 査定項目①～⑨はivページ参照										
	主 題	準備学習	本時の学習内容と到達目標				復 習			
1	オリエンテーション	事前にシラバスに目を通し、興味のある内容に着目する	授業の進め方および評価の方法を理解する (調べ学習、グループワーク等についても説明する)				ノート、教科書、参考図書等の確認			
2	子どもの保健と母子保健	WHOの健康の定義を確認しておく	①子どもと健康 ②集団の子どもと保健 ③子どもと母子保健を学び、子どもの保健と母子保健の関連を理解する。				WHOにおける健康と、子どもの保健の考え方についてまとめる			
3	子どもの保健の諸統計	子どもの保健に関連する統計について確認する	①人口と統計：人口静態・動態統計 ②周産期の統計を理解する ③子どもの病気とその他の統計を理解する				授業で学んだ具体的統計について理解する			
4	子どもの身体発育とその評価①	子どもの発育と発達の違いについて確認しておく	①子どもの発育発達の諸原則 ②スキヤモンの発育曲線 ③胎児の発育と発達について理解する				子どもの発育発達の減速や発育曲線について理解する			
5	子どもの身体発育とその評価②	子どもの発育の評価の内容について確認しておく	①身体発育の特徴 ②身体測定の意義 ③子どもの発育の評価：パーセンタイル値とパーセンタイル曲線 ④指数による評価について理解する				課題にそって指数による評価について計算する			
6	子どもの生理機能の発達①	成長に応じた生理機能の内容について確認しておく	①成長・発達に応じた生理機能 ②恒常性（ホメオスタシス） ③呼吸と呼吸調節 について理解する ④呼吸器系の病気について理解する				乳幼児の呼吸や呼吸運動のしくみについて理解する			
7	子どもの生理機能の発達②	体温や循環、血液の特徴について確認しておく	①体温の調節 ②子どもの体温の特徴 ③心拍数の変化 ④子どもの血液の特徴について理解する				子どもに特徴的な体温、循環、血液について理解する			

8	子どもの生理機能の発達 ③	子どもの消化吸収、排せ、睡眠について確認しておく	①消化管と子どもの消化吸収 ②排尿・排便のしくみ ③消化器、泌尿器の病気について理解する ④④脳の発達と睡眠 ⑤夜の眠りとホルモンの働きについて理解する	子どもの消化吸収、排尿・排便、眠りとホルモンについて理解する
9	子どもの脳神経系の発達	子どもの脳神経のしくみや各反射について確認しておく	①脳神経系の構造 ②神経系の発達 ③各反射：把握反射、モロー反射、緊張性頸反射など ④運動・感覚・言語機能について理解する	各反射の内容について理解を深める
10	子どもの脳神経の発達	脳神経の異常と現状と課題について確認しておく	①運動機能の発達過程 ②子どもの脳神経と運動機能の現状と課題 ③達の原則について理解する。	神経と運動発達について理解を深める、
11	子どもの生理機能を学ぶ	体の諸器官を調べておく。	①各器官の解剖生理を学ぶ。 ※グループワーク	子どもの体への理解を深める。
12	子どもの生理機能の発達	発表に向かって方法論を話し合い、発表に必要なものを用意する。	①発表に向けて、発表方法を定める・ ②資料を作る。 ③発表の練習をする。 ※グループワーク	発表内容について理解を深める。
13	子どもの整理発達発表①	乳児期、幼児期の発達について確認しておく	①乳幼児期の生理機能 ※グループワークの発表	発表のコメントを振り返る。
14	子どもの生理機能発表②	子どもの体の不思議さを調べておく	①乳幼児の生理機能 ※グループワークの発表	発表を振り返る。
15	まとめ	これまでの授業の内容を整理し、疑問点を明らかにする	・これまでの授業における内容について学生からの質問をうける	自分の知識の不足している部分について理解を深める
成績 評価	受講態度（20%） 課題・レポート（30%） 期末試験（50%） 合計 100%			
教員 から の コ メ ン ト	子どもの保健では、今まであまり聞いたことのない難しい言葉が沢山でてきます。難しい内容は理解を確認しながら進めますので、どんどんわからないところは質問してください。調べ学習を実施することで、理解が深まりますので頑張って学習していきましょう。			
教科 書	書名 子どもの保健と安全 演習ブック 著者 松本峰雄(監修) 発行所 ミネルヴァ書房発行	推薦 図書	生きている人体 養老孟司監訳 時空出版 なぜ病気はおきるのか 人間のからだと病気 水谷弘 草思社 からだの不思議 だれでもわかる解剖生理学 坂井建雄 メヂカルフレンド	